

第7章 大綱・基本方針

1. 大綱

第5章で述べた八上城跡の本質的価値と、第6章で整理した現状と課題を踏まえ、史跡八上城跡の目指す将来像を「大綱」として提示し、大綱を実現するための基本理念を定める。

【大綱】

- 丹波篠山の歴史を物語る上で欠かせない八上城跡の価値をより高めるとともに、確実に次世代へ継承する。
- 八上城跡の保存と活用を推進することで、多様な歴史資産を持つ丹波篠山市における歴史文化まちづくりに寄与する。

【基本理念】

- 戦国期に繰り広げられた丹波篠山における歴史的背景の中心であった八上城跡を確実に保存し、適切な管理を行うことで、より良い状態で次世代へ継承する。
- 市民や関係者による様々な活動・協働を通じて、八上城跡が地域の誇りとなり、多くの人々に愛され親しまれる史跡となることを目指す。
- 八上城跡及び関連する山城などの継続的な調査研究を推進し、新たな魅力や価値を見出し、その成果を広く発信することで、八上城跡への思いを馳せる人々を増やしていく。
- 保存と活用の推進で八上城跡の魅力を高めることにより、篠山城跡や篠山城下町などの歴史資産との連携を強化し、回遊性の向上を図る。

2. 基本方針

大綱と基本理念を踏まえ、基本方針を以下に掲げる。

保存管理	八上城跡を次世代へと確実に継承するために、本質的価値を構成する要素、本質的価値に準じる要素及び本質的価値に密接に関わる要素の確実な保存と適切な管理を行う。
活用	八上城跡の歴史を学び親しむことで、郷土への誇りや愛着を育て、地域振興や観光振興に寄与できるように、貴重な歴史資産としての活用を目指す。
調査	中世山城としての環境や風景、そこを舞台に繰り広げられた攻防を伝える八上城跡の価値について、より深く明らかにしていくための調査研究を進める。
整備	本質的価値を構成する遺構や、城跡を形づくる自然地形を保存するための整備とともに、山城としての眺望を確保し見学環境を整える適切な活用のための整備を行う。
運営体制	史跡の確実な保存と円滑な保存整備のための庁内体制の整備と、関係機関や地域住民・活動団体との幅広い連携を目指す。